

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月29日

上場会社名 サトレストランシステムズ株式会社

上場取引所 大

コード番号 8163 URL <http://www.sato-restaurant-systems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 重里 欣孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 寺島 康雄

TEL 072-227-5901

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	18,146	△6.9	594	454.6	444	—	334	—
21年3月期第3四半期	19,500	△5.3	107	△72.4	17	△94.5	△178	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	13.31	—
21年3月期第3四半期	△7.10	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	22,978	9,619	41.9	382.84
21年3月期	21,808	9,280	42.6	369.30

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 9,619百万円 21年3月期 9,280百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.50	—	0.00	2.50
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	△5.7	560	227.3	320	363.5	60	—	2.39

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	25,394,380株	21年3月期	25,394,380株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	267,311株	21年3月期	263,411株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	25,130,009株	21年3月期第3四半期	25,134,969株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、厳しい雇用情勢が継続する中、デフレや金融資本市場の変動などによる景気の下振れ懸念など、先行き不透明な状況が継続しております。

外食産業におきましては、雇用情勢の一層の悪化懸念などによる消費者の支出抑制の影響を受け、厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社は「最も顧客に信頼される和食レストランの実現」に向けて諸施策を積極的に推進するとともに、あらゆる業務についてゼロベースで見直しを行い、収益力の強化に努めてまいりました。

営業施策では、主力の郊外和食店「和食さと」における客層拡大の一環として、4月よりお子様対象の会員制度「さとキッズくらぶ」を発足させ、キッズニア甲子園へのご招待や、プロ野球観戦ご招待などの各種イベントを企画実施しご好評を得ております。また6月より、4種のだしの味が選べ、具材30種が食べ放題で、リーズナブルな価格の「さとしゃぶ」を全店導入し、従前のお客様に加え、若者グループや若いファミリーのお客様にも、ご好評を得ております。すし半店におきましても、宅配実施店を3店舗追加し、前期からの店舗と合わせ6店舗となりました。また12月より、「てっちり半額フェア」を実施してお客様のご支持を頂いております。

店舗展開につきましては、郊外和食業態「和食さと」で1店舗の新規出店と2店舗の閉店を行いました。また、新設道路工事に伴い1店舗の移転建替えを実施し、同建替えに対する移転補償金として89百万円の特別利益を計上しております。当第3四半期会計期間末の店舗数は209店舗となりました。その内訳は、郊外和食店196店舗、すし半店13店舗であります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高181億46百万円（前年同四半期比6.9%減）、営業利益5億94百万円（前年同四半期比454.6%増）、経常利益4億44百万円（前年同四半期は17百万円の経常利益）、四半期純利益3億34百万円（前年同四半期は1億78百万円の四半期純損失）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、229億78百万円（前事業年度末比11億70百万円の増加）となりました。

流動資産は42億94百万円（前事業年度末比17億25百万円の増加）となりました。これは主に、現金及び預金15億87百万円の増加、原材料及び貯蔵品1億48百万円の増加によるものであります。

固定資産は186億84百万円（前事業年度末比5億55百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の減少3億47百万円、差入保証金の減少1億95百万円などであります。

流動負債は、58億91百万円（前事業年度末比1億16百万円の減少）となりました。これは主に、買掛金の増加2億69百万円、短期借入金の減少1億48百万円、賞与引当金の減少1億23百万円、店舗閉鎖損失引当金の減少95百万円などであります。

固定負債は、74億67百万円（前事業年度末比9億48百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金9億80百万円の増加によるものであります。

純資産は、96億19百万円（前事業年度末比3億38百万円の増加）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高に比べ15億87百万円増加し、31億84百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、8億78百万円（前年同四半期比64.6%増）となりました。これは主に、税引前四半期純利益5億26百万円や減価償却費5億98百万円などによる増加と、たな卸資産の増加1億94百万円や法人税等の支払額1億1百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億16百万円（前年同四半期比68.0%減）となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入1億76百万円、有形固定資産の取得による支出2億13百万円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、8億16百万円（前年同四半期は59百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の純増1億80百万円、長期借入金の純増6億52百万円などであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成21年10月29日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,184,410	1,597,399
売掛金	175,917	126,838
商品及び製品	155,438	108,703
原材料及び貯蔵品	454,330	306,285
繰延税金資産	92,913	190,880
その他	231,447	238,568
流動資産合計	4,294,457	2,568,676
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,793,792	3,036,338
土地	9,425,318	9,425,318
その他(純額)	785,807	890,982
有形固定資産合計	13,004,918	13,352,639
無形固定資産	244,216	266,466
投資その他の資産		
投資有価証券	500,968	482,128
長期貸付金	478,586	534,155
差入保証金	3,531,812	3,727,027
繰延税金資産	558,971	591,040
その他	364,923	286,321
投資その他の資産合計	5,435,263	5,620,673
固定資産合計	18,684,398	19,239,779
資産合計	22,978,856	21,808,455

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	721,653	451,702
短期借入金	3,571,800	3,719,827
未払金	1,004,184	981,268
未払法人税等	95,208	139,592
未払消費税等	75,876	65,277
賞与引当金	65,600	189,000
店舗閉鎖損失引当金	6,853	102,261
関係会社事業損失引当金	53,000	53,000
その他	297,639	306,424
流動負債合計	5,891,815	6,008,353
固定負債		
長期借入金	6,255,600	5,275,200
再評価に係る繰延税金負債	917,768	917,768
役員退職慰労引当金	31,403	78,811
その他	262,657	247,532
固定負債合計	7,467,429	6,519,312
負債合計	13,359,244	12,527,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,592,458	5,592,458
資本剰余金	3,224,180	3,224,180
利益剰余金	817,864	483,321
自己株式	△190,032	△187,813
株主資本合計	9,444,471	9,112,147
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	55,942	49,444
土地再評価差額金	119,198	119,198
評価・換算差額等合計	175,140	168,643
純資産合計	9,619,611	9,280,790
負債純資産合計	22,978,856	21,808,455

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	19,500,431	18,146,149
売上原価	5,598,655	5,272,514
売上総利益	13,901,775	12,873,634
販売費及び一般管理費	13,794,610	12,279,278
営業利益	107,165	594,355
営業外収益		
受取利息	10,880	9,580
受取配当金	8,158	12,453
受取家賃	113,774	104,097
雑収入	45,893	48,448
営業外収益合計	178,705	174,578
営業外費用		
支払利息	151,762	163,115
不動産賃貸費用	92,293	90,057
雑損失	24,428	71,132
営業外費用合計	268,484	324,305
経常利益	17,386	444,629
特別利益		
固定資産売却益	2,140	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	2,340	17,160
関係会社清算益	25,200	—
移転補償金	—	89,847
特別利益合計	29,681	107,008
特別損失		
固定資産除却損	28,858	11,362
減損損失	39,691	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	4,600	6,853
早期割増退職金	—	6,529
特別損失合計	73,149	24,745
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△26,081	526,891
法人税、住民税及び事業税	79,971	74,656
法人税等調整額	72,527	117,692
法人税等合計	152,499	192,348
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△178,580	334,542

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	6,379,688	5,981,217
売上原価	1,872,766	1,816,193
売上総利益	4,506,921	4,165,023
販売費及び一般管理費	4,558,464	3,971,064
営業利益又は営業損失(△)	△51,543	193,959
営業外収益		
受取利息	3,456	2,991
受取配当金	2,082	3,107
受取家賃	37,605	34,699
為替差益	—	13,510
雑収入	14,792	12,044
営業外収益合計	57,937	66,352
営業外費用		
支払利息	51,141	53,591
不動産賃貸費用	30,736	29,875
雑損失	13,761	23,458
営業外費用合計	95,639	106,926
経常利益又は経常損失(△)	△89,244	153,386
特別利益		
固定資産売却益	2,140	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	18,510
移転補償金	—	89,847
特別利益合計	2,140	108,358
特別損失		
固定資産除却損	3,972	2,950
減損損失	23,844	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3,730	6,853
特別損失合計	31,547	9,803
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△118,651	251,940
法人税、住民税及び事業税	25,310	24,760
法人税等調整額	59,164	64,799
法人税等合計	84,474	89,559
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△203,126	162,380

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△26,081	526,891
減価償却費	706,355	598,565
減損損失	39,691	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△153,400	△123,400
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,366	△95,407
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△47,408
受取利息及び受取配当金	△19,038	△22,033
支払利息	151,762	163,115
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,140	—
有形固定資産除却損	28,575	11,551
関係会社清算損益 (△は益)	△25,200	—
移転補償金	—	△89,847
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,374	△49,078
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△205,229	△194,779
仕入債務の増減額 (△は減少)	218,833	269,950
未払金の増減額 (△は減少)	81,444	22,916
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12,780	10,599
その他	19,239	77,402
小計	773,290	1,059,038
利息及び配当金の受取額	8,803	12,557
利息の支払額	△147,086	△162,172
移転補償金の受取額	—	70,347
法人税等の支払額	△100,745	△101,332
その他の支出	△743	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	533,519	878,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社出資金の払込による支出	—	△88,000
関係会社の整理による収入	53,766	—
有形固定資産の取得による支出	△437,844	△213,210
有形固定資産の売却による収入	2,140	—
無形固定資産の取得による支出	△43,726	—
差入保証金の差入による支出	△26,940	△55
差入保証金の回収による収入	78,383	176,925
建設協力金の支払による支出	△40,000	—
建設協力金の回収による収入	106,266	53,215
その他	△55,891	△45,416
投資活動によるキャッシュ・フロー	△363,844	△116,541
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	160,000	180,000
長期借入れによる収入	2,450,000	3,420,000
長期借入金の返済による支出	△2,604,325	△2,767,627
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△13,928
自己株式の取得による支出	△2,572	△2,219
配当金の支払額	△62,834	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,731	816,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	776	8,889
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	110,719	1,587,011
現金及び現金同等物の期首残高	1,809,373	1,597,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,920,092	3,184,410

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。